資料３

第2回仙台若者会議「せんだいユースカウンシル」 Group B

「町内会をはじめとする地域コミュニティの あり方について」 説明資料

令和8年7月15日　青葉区まちづくり推進課
若林区まちづくり推進課
市民局地域政策課

※2,3,8~11,15,21ページのイラストは、生成AIで作成しました。

町内会とは？

●地域の住民で構成される自治組織（加入は任意）

●区域の範囲は地域によりさまざまであり、加入世帯数は十数～数千世帯と幅広い。

●マンションをはじめとする集合住宅は、その地域内の町内会に加入したり、1棟で1つの町内会を作ったりしている。

●町内会長、副会長、総務担当、会計担当、監査担当などの役員や、班長などで運営している。

●町内会の運営費用は、加入している地域住民からの町内会費と、市からの奨励金などで賄われている。
加入世帯数に応じて予算の状況が異なる。

町内会の役割① ～活動内容～

町内会

防災訓練や防犯パトロールなどを行い、災害時に備えたり、安全・安心なまちづくりを行う

回覧板や市政だよりの配布など、地域情報や行政情報の共有を行う

ごみ集積所管理や地域清掃・除草などの活動により、清潔で快適な生活環境を地域全体で維持

地域の祭りや運動会などを行い、住民の交流や地域活性化に貢献

町内会の役割② ～様々な地域団体との関係～

消防団

女性防火クラブ

交通指導隊

防犯協会

社会を明るくする
運動推進委員会

投票所における
投票立会人の推薦

町内会

※地域を代表する
窓口として、
様々な地域団体の
メンバーを推薦、
連携・協力して活動

地区社会福祉協議会

老人クラブ

学区民体育振興会

公園愛護協力会

民生委員・児童委員
就任のお願い

国勢調査の調査員の
推薦

➡ 町内会がなくなると、さまざまな地域団体の担い手にも影響

町内会活動の事例①

青葉区Ａ町内会

●世帯数：約320世帯
●会費：250円／月（年間3,000円）
●役員構成：会長、副会長、総務、庶務、会計、広報、社会福祉、社会教育、防犯・防災、
交通安全、環境整備、保健衛生、監事、班長24名
●地域団体への役員就任状況：民生委員児童委員、子供会世話役、防犯婦人部
●活動内容：・定例総会、役員会、班長会
・「町内会だより」の発行（月１回）、各広報紙の配布、ポスター掲示
・町内灯（防犯灯）の電気料金負担および維持管理　77灯
・河川清掃（5回50名）道路清掃、公園清掃（9回60名）
・ごみ集積所の管理（毎週水曜日夜の巡回）
・社会教育活動と親睦行事（研修会、シニア大学）
・学区民体育振興会主催行事への参加
・敬老会の開催、地域の団体への活動資金補助
・小学校入学祝金、新成人へのお祝い金、香典

町内会活動の事例②

青葉区Ｂ町内会

●世帯数：約180世帯
●会費：200円／月（年間2,400円）
●役員構成：会長、副会長、総務部、保健衛生部、施設部、会計部、会計監査2名、班長4名
●地域団体への役員就任状況：体育振興会、交通安全協会、防犯協会、防災事務局、地域福祉委員
●活動内容：・資源回収（月１回）
・広報紙配布、文書回覧（月１回）
・ふれあいまつり
・街路、公園、河川などの町内会環境美化清掃（５月から10月）
・学区民大運動会
・防犯協会活動への参加、町内の防犯パトロール
・防災訓練への参加
・交通安全運動への参加
・体育振興会や福祉委員活動への参加

町内会が果たしている役割

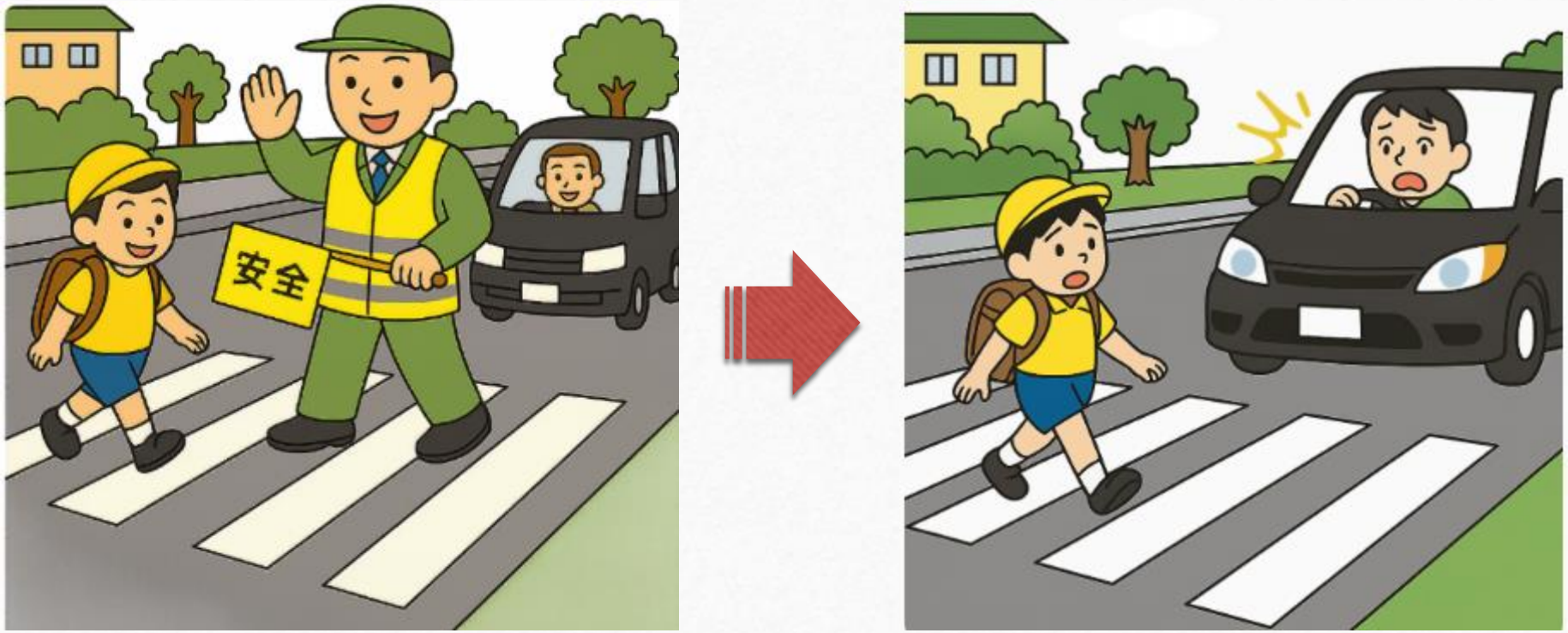
町内会をはじめとして、地域にはさまざまな
お世話をしてくれる人がいます。

町内会がなくなり、お世話をしてくれていた人が
いなくなると、地域はどうなるのでしょうか？

例えば、ごみ集積所の管理・清掃をする人がいなくなると・・・

例えば、私道に町内会が設置した街路灯がなくなると・・・

例えば、見守りをしてくれる人がいなくなると・・・



例えば、避難所で運営や住民のまとめ役をしてくれる地域の人がいなくなると・・・

町内会等の地域団体がなくなると、地域はどうなるのか？

●地域の安全安心やきれいな環境が保たれなくなる

⇒住みにくいまちになる　⇒選ばれないまちになる　⇒地域の魅力が下がる

「町内会」以外の解決策は？

●地域が行っていたことを、すべて行政が引き受ければいい・・・？

・地域ごとのさまざまな状況に応じた個別の支援は難しい
・優先順位に応じた作業となり、迅速な対応が難しい
・清掃などを業者委託するにしても、費用も多額となる
・地域ごとの小さな困りごとに気づくのが難しい

一方で、地域コミュニティへのニーズは多様化している

地域コミュニティへのニーズは多様化している

育児中の住民

- 子育て中は孤独になりがち
- コミュニティのなかで子育てのアドバイスがあると良い
- 情報はInstagram、LINEで欲しい

子育て世代

- 子ども向けイベントがあるとよい
- 多世代交流があるとよい
- 地域食堂などがあると助かる
- 子ども向けのクリスマス会などは手伝える
- 情報はInstagram、LINEとかで欲しい

若い世代

- 孤独を感じている
- 適度な人のつながりは必要
- コミュニティカフェなどが欲しい
- お祭りは楽しみにしている
- 情報はInstagram、LINEとかで欲しい

地域コミュニティへのニーズは多様化している

高齢者

- 健康イベント、カラオケ会を開催して欲しい
- 祭りは欠かせないし、日帰り旅行もやって欲しい
- 情報は紙の回覧板もあった方が安心

外国人

- 町内会を知らない
- 地域コミュニティのルールを教えて欲しい
- 地域コミュニティの方々ともっと交流したい
- わかるように情報提供してほしい

昔の町内会の背景と、現在の町内会の状況

昔は…

・地域の人は顔なじみ
・3世代以上の同居が多い
・専業主婦やパートの方も多く、PTAや子ども会、町内会などの活動の担い手に
・定年退職後の世代も町内会の運営やイベントに積極的に参加

現在は…

・近隣の住民との交流は減少傾向
・核家族、集合住宅、単身世帯の増加
・共働きや定年延長などにより、町内会などの地域活動に関われる人が減少
・役員の高齢化で、町内会運営が難しくなっている傾向

現在の町内会を取り巻く課題

総務省「地域コミュニティに関する研究会 報告書」（R4.4）

◆単身世帯、女性・高齢者雇用の増加等のライフスタイルの変化

◆自治会等の活動や運営方法が現代に必ずしもマッチしていない

▼加入率の低下
▼担い手不足の深刻化

現在の町内会が抱えている課題

情報共有・情報発信のための
デジタル活用が進んでいない

従来のアナログな方法だと手間・時間がかかる

紙面だとあまり見てもらえていない？

町内会加入者の減少
地域活動の参加者･協力者がいない

参加者が少ない、高齢者だけでは実施が困難

新しい住民や若い世代との関わり、つながりがない

⇒どう声をかけたらいいか分からない

資料作成や会計管理などの
事務的な作業が難しい

WordやExcelを活用したいけど、操作が分からない

役員の高齢化・担い手不足
↓

役員一人あたりの業務が多い・負担が大きい

後継者が見つからない

町内会に対する市の支援（運営面）

●町内会役員向け講座、町内会長研修会

専門の講師を招いて、運営や活動の工夫、課題解決のヒントなどを紹介

（価値観やライフスタイルの多様化を踏まえた町内会運営のヒント、若い世代や女性の参画を促すためのアプローチ、町内アンケートやサポーター制度を取り入れた運営など）

●町内会デジタル化推進事業

町内会の困りごとをデジタルで解決するため、アドバイザーを各町内会に派遣し伴走支援

（電子回覧版の導入、LINEグループを使った役員間の連絡、集会所予約のオンライン化、クラウドでのデータ共有　など）

●町内会活動の事例集作成

活動の工夫をされている町内会などの好事例を紹介した事例集を作成し、配布・HP公開

町内会等に対する市の支援（資金面）

・町内会等育成奨励金
・地区集会所建設等補助
・地区集会所借上補助
・屋外掲示板設置補助
・ごみ集積所用具配布、管理備品購入補助
・街路灯設置維持補助
・防犯カメラ設置等事業補助
・公園愛護協力会報償金、ごみ袋配布等
・コミュニティまつり助成

・・・etc

町内会応援！プロジェクト

＜ 町内会加入促進チラシ ＞

＜ LINEスタンプ ＞

＜ YouTube動画 ＞

今、地域に必要なこと
＝今回、皆さんに議論していただきたいこと

・さまざまな世代の住民や、転居してきた方々などに、
　地域の活動を知ってもらいたい！

・若い世代にも活動に参加してほしい！

・若い世代の皆さんと一緒に
　より良いコミュニティにしたい！